

ご存知ですか？

新幹線札幌トンネル有害掘削土が朝里へ持ち込まれる！



朝里の水と環境が危ない！

私たちの生活が危ない！

Q. 朝里のどこに有害掘削土が？

A. 候補地は観光地の朝里川温泉地区の

通称 石切山（私有地）です。

※詳しくは裏面をご覧ください。

Q. どんな有害物質が？

A. 掘削土には有害重金属（ヒ素、カドミウム、鉛など）が含まれています。特に「ヒ素」は掘り出して空気に触れるとすぐに酸化して猛毒の「亜ヒ酸」に変化します。

これは「**青酸カリと同等以上**」の毒性

があります。また、水に溶けやすいので地中にしみだして河川を汚染しながら酸化してさらに毒性が強まります。

たとえ水で薄まったとしても自然界にある量をはるかに超えているので**朝里川の貴重な水資源や生態系に悪影響が出ます。**

Q. トンネル掘削のために市道が変わる？

A. トンネル工事の資材搬入のために市道である大正新線の付け替え工事もあります。

そのため道幅わずか4mで歩道も無いのに10tトラックが一日に往復20台も通ります。

道路近くに暮らす市民にとっては騒音・振動や交通事故の心配もあります。



「朝里の水を守る会」

(朝里にヒ素・カドミウム等の有害トンネル掘削土を
入れさせず地域の環境と水を守る会)

◎地域住民有志の会です、是非参加してください。



「亜ヒ酸」の毒性（青酸カリと同等以上の猛毒）

	ヒト	小魚(親指大)	微生物
生物			 プランクトン 藻 細菌
体重	60Kg	6g	0.6mg
致死量	100~300mg 0.1g	0.01mg 10μg	0.000001mg 1ng
目安量	耳かき4杯 水2滴	ほこり1粒 ※鉄道運輸機構「試料測定値」 0.01~0.1mg/L ⇒ 小魚は死ぬ!	—

Q. なぜ石切山へ土を運ぶことに反対？

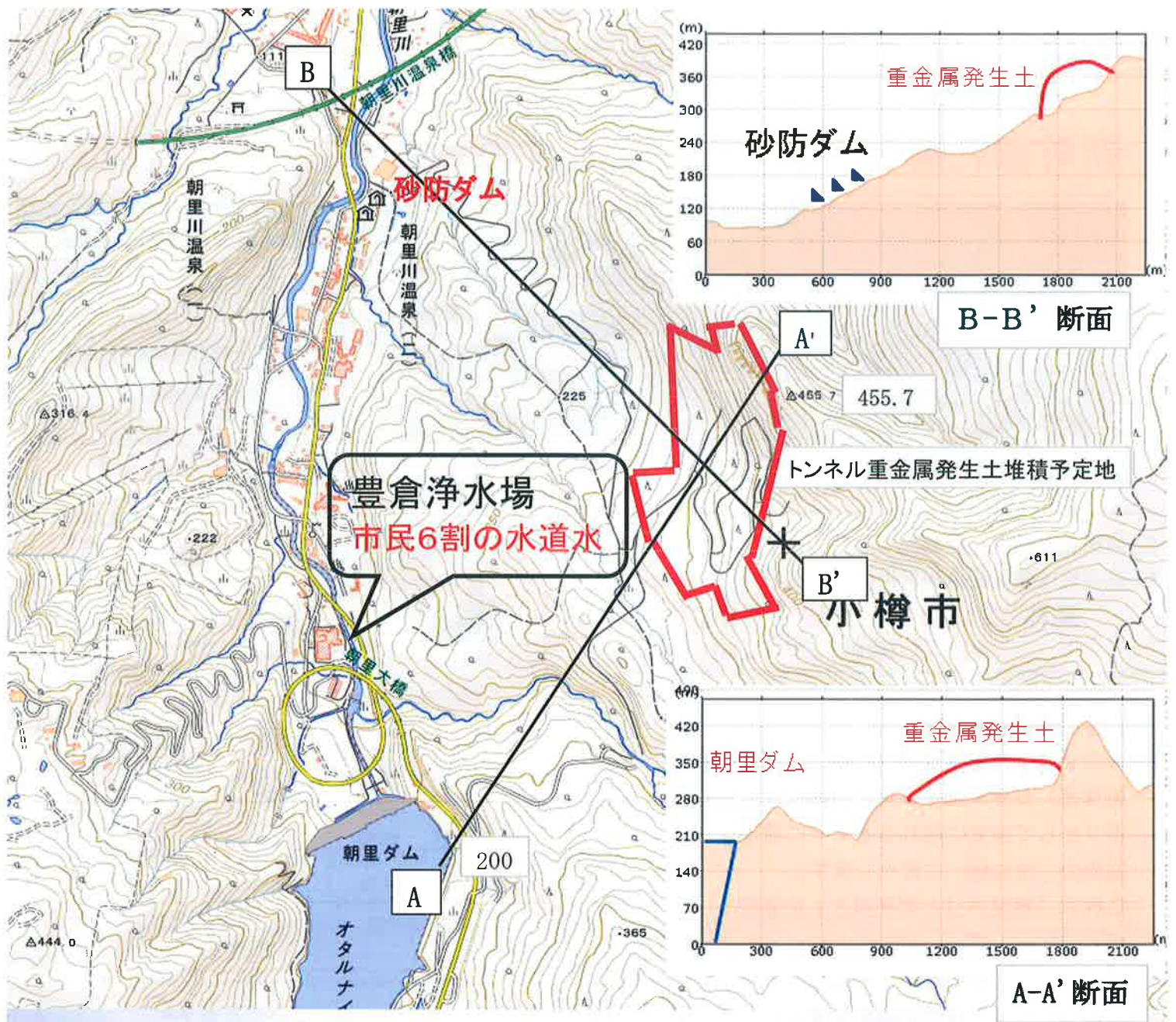
A. 石切山は北海道が地すべり地帯と認定し、砂防ダムが3ヶ所もあり土砂災害が心配。朝里ダムに近く、200mも高い場所です。市民**6割の水を供給**する豊倉浄水場の取水する川の汚染「微量でも毎日飲む水」健康被害が心配です。朝里川温泉の景観も台無しです。

誰も責任を取らない？！

「工事後2年間は水質管理するがその後は土地所有者となる」との鉄道運輸機構の回答に会場は「えーっ！！」

置かれた掘削土から、しみだした有害物質で川や温泉やダムが汚染されたら誰が責任を取るのでしょうか？

(12/14朝里川温泉会館での説明会)



トンネル重金属発生土堆積予定地



石切山への有害トンネル掘削土受け入れ中止を求める署名

鉄道建設・運輸施設整備支援機構 北海道新幹線建設局（以下：機構）は、「石倉工区」の掘削にあたり、発生する掘削土の受け入れを朝里川温泉地区の石切山に指定しています。

しかし、掘削土には人体に有害な鉛・ヒ素・カドミウム・フッ素などが含まれており、特にヒ素・カドミウムは、機構の調査によっても、地下水環境基準値を超える濃度が検出されています。「ヒ素」は、掘り出して空気に触れるとすぐに酸化して猛毒の「亜ヒ酸」に変化し、「青酸カリと同等以上」の猛毒になります。水に溶けやすく、地下に染み込み、河川を汚染する危険があります。また、カドミウムは「イタイイタイ病」の原因になった物質です。

このような掘削土を土砂災害警戒区域である石切山に搬入することは、朝里川温泉・朝里・新光地域住民の生活と健康に大きく不安を与えるものです。健康で安心な生活を脅かされる不安を未来にわたって抱えることのないよう強く下記のことを求めます。

1、小樽市として石切山に有害トンネル掘削土を受け入れないことを求めます。

氏 名	住 所

書き間違いは二重線で訂正するか一覽抹消してください。

国内在住の方に限ります。本人自書で書いてください。年齢制限はありません

この署名は、小樽市長への提出以外の目的では使用しません。

「朝里にヒ素・カドミウム等の有害トンネル掘削土を入れさせず地域の環境と水を守る会」

(略称 朝里の水を守る会)

北海道新幹線札幌トンネル掘削土の危険性を学びましょう

12月13日(日)10時半 レピオにて



機構の杜撰な掘削土の管理に監視を

鉄道運輸機構(以下・機構)が現在、掘削中の北海道新幹線渡島トンネル(北斗市・厚沢部町・八雲町にまたがる32.7kmの最長トンネル)で、有毒と疑われる残土が発生し、工事が中断に追い込まれています。機構はこの

残土を「条件不適土」と名づけていますが、正体不明なものです。機構は「条件不適土の分析・対策はこれから」などと、不誠実な姿勢です。

「条件不適土」については機構が2018年10月から確認していましたが、19年7月になって初めて北斗市へ報告しました。20年8月

には北斗市議会へ「安全性に問題なし」と説明、しかし、10月に、突然「仮置き場が満杯」として工事を中断しました。

まさに「行き当たりばったり」の機構の対応です。現在、工事中の札幌トンネルでも「条件不適土」が発生しないと断言できません。引き続きの監視と、隠ぺい工作をさせない取り組みが大切です。



多くの市民の反対の声で水を守ろう

札幌トンネル工事については、すでに着手されており、掘削土は発生しています。掘削土の危険性については、朝里地区で2回にわたり学習会を開催してきましたが、もっと市民へ訴えて運動を広げるため、3回目の学習会を計画しました。

12月13日(日)10時30分より、レピオにて、講師に「ヒ素・カドミウムなどの専門家」土方健二北大客員教授(生物化学)を迎え、トンネル掘削土の危険性を学びます。なお、資料代・会場費としてお一人300円の負担をお願いします。

市民の6割に供給される小樽の水を、危険な「要対策土」や「条件不適土」から守るため、多くの皆様の参加を呼びかけます。

詳細は下記、事務局までお尋ね下さい。



発行 朝里にヒ素・カドミウム等の有害トンネル掘削土を入れさせず地域の環境と水を守る会
事務局 小樽市朝里4丁目6番22号 高野 方 TEL/FAX. (0134)54-9321 18時~20時